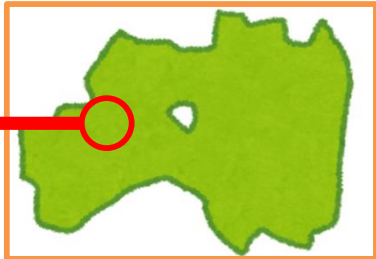


産地生産基盤パワーアップ事業の取組事例(R2年度:計画作成主体:昭和村地域農業再生協議会) (福島県)

取組の概要

対象品目 : 花き (宿根カスミソウ)
 主な取組主体 : 昭和村
 成果目標 : 販売額の10%の増加
 基準 (R元年度) 466,360千円
 目標 (R4年度) 513,486千円
 導入施設等 : 整備事業
 集出荷貯蔵施設 (予冷库の拡充)
 生産支援事業
 パイプハウス資材の導入

福島県
 昭和村・柳津町・
 三島町・金山町
 (計画の産地の範囲)



ポイント

【産地の課題及び取組方向】

農林水産省地理的表示 (GI) 保護制度に登録している「昭和かすみ草」は、福島県有数の豪雪・過疎地域である当地域の農業を支える重要な基幹作物であり、産地の高い生産技術と、全量を冬期間の降雪を活用した予冷施設 (雪室) で予冷し、鮮度を保持して出荷する取組により、全国の市場から高い評価を得ている。一方、産地の拡大に伴い、予冷施設的能力を超える数量を取扱うことが多くなったため、品質保持の観点から、予冷施設を拡充し、さらなる産地拡大を進め、販売額の増加を目指す。

【産地の体質強化に向けた方策】

- ① 予冷施設の拡充・機能強化による販売体制強化
- ② 既存生産者の規模拡大、かん水設備導入による出荷量増加及び品質向上
- ③ 新規就農者の確保による産地拡大



推進体制

(取組主体:昭和村)

栽培農家
 ・ 規模拡大、かん水設備導入

予冷施設
 ・ 拡充し
 有利販売

JA、各町村、農業普及所
 ・ 技術支援
 ・ 出荷期の平準化指導
 ・ 新規就農者の確保

実需者

地域における独自の取組

<主な取組>

- ・ 予冷库を効率的に稼働させるための出荷期平準化の技術指導
- ・ 補助事業や支援体制の構築による新規就農者確保

取組成果

【事業実施による直接効果】

予冷施設の拡充により品質及び鮮度の保持につながり、市場等から高い評価

【事業実施による間接効果】

宿根カスミソウの栽培面積及び出荷量は目標を上回るペースで増加
 また、新規就農者確保のための研修生の受入体制整備も進み、新規就農者や移住・就農相談も増加



販売額が11%増加
 (達成率114%)

